投書箱　「わたしの声」　お答え

2023年11月　院所利用委員会
下越病院管理部

※　投書の内容は原文のまま掲載しています。

	投書の内容	病院からの回答・対応
9月 上旬	施設看護師です。 利用者さんと神経内科に受診しました。 ストレッチャーで来て、寝たきりの利用者さんがパジャマを汚してしまいました。着替えようと思い、看護師さんに声をかけたら、言わなくても必要なものを持ってきてくれ、頼まなくても手伝ってくれました。ありがたかったです。 病棟の看護師を15年しましたが、毎日忙しく、優しさに欠けている行動しかできない私でしたが、こちらの看護師さんを見習って、また頑張ろうと思いました。ありがとうございました。 40歳代　女性	お褒めの言葉をいただきありがとうございます。 この度いただいた言葉を励みに、これからも、患者さん、ご家族に寄り添った医療・看護を提供できるようにチームで目指します。 ありがとうございました。 外来看護師長　渡辺　敏子
9月 下旬	（ウオームにて） 教室の音のボリュームが80ｄｂデシベルを超えて、ジムにひびきわたるのが苦痛である　80ｄｂより大きな音は聴力回復不可能な損傷につながる、と警告がスマホから通知されている。 ボリュームを計測し、せめて50ｄｂレベルで行っていただきたい。 あるいは出入り口の扉を閉めるなどスタッフも気を付けてほしい 50歳代　男性	この度は不快な思いをさせてしまい申し訳ございません。 一般社団法人日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会によれば、「一般的に「騒音性難聴」とは、85デシベル(dB)以上の大きな音を長時間、長期間に渡って聴き続けることが原因です。」とあります。そこで、教室の音量を80ｄB以下とするために音量調査を検討いたします。現在は会員の方々と職員の健康を守るため、教室内の音量をできるだけ抑え、マシンフロアへは大きな音が響かないよう、多目的室の扉を閉めるなどの対策を実施しています。今後、音量調査を経て、適正な音量に調整していきたいと考えております。 貴重なご意見をありがとうございました.。 今後もかえつメディカルフィットネスウオームをよろしくお願いいたします。 ウオーム課長　高橋　良太
他に2通の投書を頂き、個別に対応させていただきました。		